

District 2770



イマジン

ロータリー

会長：小林 賢弘  
幹事：北林 隆一

## Weekly Report

2022~2023 越谷東RC運営方針

●感謝と恩返しの輪を広げよう

2022~2023 RIテーマ

●イマジン ロータリー

越谷東  
ロータリークラブ

創立1987年5月18日



〈例会日〉 毎週木曜日 12:30~13:30

〈事務局〉 〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-7-1 (NTT東日本 越谷ビル2F)

☎ 048-965-2037 ☎ 048-965-2011

<http://www.koshigayahigashi-rc.org/> E-mail:info@koshigayahigashi-rc.org

## 第1726回例会 2023年3月30日

司会：会場運営委員会／守屋トミー  
会報No.1514号／担当：委員一同

会員数：56名／出席数：29名  
出席率：56.86%

### 水と衛生月間



### 例会風景

- ◆黙 想
- ◆開会点鐘 会長 小林 賢弘
- ◆ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」
- ◆クラブソング斉唱 「クラブ賛歌」(2番)
- ◆会長挨拶 会長 小林 賢弘
- ◆幹事報告 幹事 北林 隆一
- ◆未来フォーラム 未来委員会 会田 皓章
- ◆スマイル報告 社会奉仕委員会 鈴木 一郎
- ◆出席報告 出席委員会 栗田 晴巳
- ◆閉会点鐘 会長 小林 賢弘



会長挨拶

会長 小林 賢弘

プログラム予定表を確認したところ、例会場での私の時間は今日を入れて残り10回。これまでに30回ここでお話しをさせていただきました。いよいよ4・5・6月の3ヶ月ラストパートをかける時期まで来ることができました。



さて私の人生の縮図としてお話ししてきた「私について語るシリーズ」5回目の今日は「バンドマン篇その②」となります。

前回わずか2ヶ月というなめくさった受験勉強で現役受験に失敗した私は、親が許してくれた浪人生活を水道橋の親父の工場の2階に下宿して始めました。御茶ノ水は学生街でとても暮らしやすく、食事は明治大

学や日大の学食で安く腹一杯食べられました。イシバシ楽器や下倉楽器を覗いてはギブソンやフェンダーに憧れ、名曲喫茶ウイーンでクラシックを聴きながらラブソングを作詞したりと勉強はそこそこに浪人生活を満喫していました。時代なのでしょうが、未成年の方が多いのに予備校には1階と屋上に灰皿があり一服することもできました。喫煙所で知り合った3人と生まれて初めて雀荘に行ったことがきっかけで麻雀に興味を持ってしまいます。まだ覚えてただった奴等に小遣いを巻き上げられた悔しさから、麻雀入門の本を買って研究を始めました。程なくルールや役を覚え雪辱戦で負けを取り戻した私は、麻雀の面白さと奥深さに夢中になります。夢中になったら最後、何時間でも集中できる私は毎日のように実戦を重ね、阿佐田哲也や小島武夫といったプロ雀士の本を読み漁り、この極限まで頭脳を使いツキや運に大きく左右される麻雀というゲームにロマンを感じて深くのめり込みます。御茶ノ水の雀荘は学生街なので治安が良く、レートも高くないので、明大生や日大生の卓に入るようになり、ほとんど毎日雀荘に通っては大学生から小遣いを稼げるようになるまで上達します。勝ったお金はビートルズやストーンズ・キンクス・ドアーズ・ツェッペリンなどのレコードに変わり、日中は雀荘、夜帰ってからは音楽という規則正しく勉強をしない生活が続きます。あっという間に夏が終わり涼しくなってきた頃、ようやく麻雀熱が冷め流石にこれはまずいと勉強を再開します。しかし勝負の夏休みの大半を雀荘と、バンド研究のためライブハウスで過ごしてしまったツケが大きいのしかかります。英語の勉強は相変わらず進まず、2科目で勝負せざるを得ない同じミスを繰り返してしまうのです。

入りたかった文学部史学科は3校受験しますが全滅、バンドをやるための大学生活が夢と消えてしまうところまで追い詰められます。この期に及んで学部云々と贅沢は言ってもらえず、2次募集があった明星大学と桜美林大学に最後のチャンスを賭けることになります。しかし負の連鎖というのは恐ろしいもので、完全に負け癖のついた私は名前すら知らなかったほどマイナーなこの2校とも落ちてしまうのです。いよいよ就職するしかなくなった時、よほど生徒数が足りなかったのか亜細亜大学の3次募集を新聞広告で知りました。藁にもすがる思いで願書を出し、3月3週目に受験、4週目に合格通知が届きすぐに手続き諸々、学費を振り込んでもらい入学式の3日前、ついに亜細亜大学経営学部経営学科に入学が決まったのです。

すったもんだあった大学受験。小学校で東大も夢じゃないと騒がれた神童が進んだのは、偏差値の低い、

体育会の運動バカが幅を利かせている底辺の大学でした。学びたかった学部もなく、バンド活動に専念するにはベストの環境だったと言えます。そしてこの大学で私のバンドマン時代に関わる何人もの人間と出会います。

入学してすぐに2泊3日の新入生オリエンテーション合宿というものが富士山の方でありました。上級生が何十人も自分のサークルへの勧誘目的で手伝いに来て、10人程の班に1人担当として付きます。私の班に付いたのは我満利朗（がまんとしろう）という冗談のような名前の3年生で、ビートルズを信じジョンレノンを神と崇めるマニアでした。夜の酒盛りの席で歌合戦が始まります。新入生は未成年なのに学校職員はノータッチという実に大らかな時代でした。酒に酔った学生が順番を競って歌い出します。カラオケは高い飲み屋にしかない時代ですから、当然アカペラです。流行しているポップスや女の子が振り付きで歌うピンクレディーで盛り上がっていたこの席で、我満さんはジョンレノンの「マザー」「ゴッド」というマニアしか知らない名曲を倒れるんじゃないかと心配になるほど顔を真っ赤にして絶叫したのです。場の空気は凍り付き、いったい何なんだこいつとはと固まってしまう。女子は危ない人だと思ったらしく怯えて部屋に帰ってしまいます。歌うまではとても穏やかで優しい先輩のイメージしかなかったのが皆がドン引きしている中、私は感動の拍手を止められませんでした。他人に迎合せず、ありのままの自分を表現した我満さんに心の底からロックを感じたのです。そしてビートルズとジョンレノンについて朝まで語り明かした私は、我満さんが会長を務める経営学研究会という何をしているのかよくわからない、胡散臭いサークルに入会することにしました。軽音楽部やバンドのサークルを覗いてはみましたが、勧誘する先輩はどいつも格好だけで薄っぺらさしか感じられず、バンドとは無縁ですが人間そのものがロックな我満さんにとっても興味を感じたのです。

経営学研究会は、年に一度中央沿線の大学の同じサークルが集まって、研究テーマを発表し合うというほぼ中身は無く、しょっちゅうあるコンパと年1回の合宿、あとは麻雀といった当時ありがちなサークルでした。しかしバンド結成には何の役にも立たないと思っていたこのサークルで運命的な出会いがあるのです。先日の鮎川誠さん追悼の回で登場した天才ギタリスト矢沢くんとのお出でです。

さていよいよ次回から本格的なバンド活動が始まります。「へーそうなんだ」というエピソードもいくつもありますのでちょっとだけ楽しみにしてください。

## 幹事報告

幹事 北林 隆一

幹事報告させていただきます。

住友生命保険、齊藤 敦会員が4月から東京本社転勤の為、脱会されるとのご連絡がありました。後任の支店長をご推薦いただけるとのことです。



来月は、親睦旅行や合同夜間例会が予定されています。皆様のご参加よろしくお祈りします。

また、これまでご不便をお掛けしましたが、4月3日より、事務局が通常の月、水、木の出勤体制となります。

来週の例会は、山崎勝己会員の職業卓話となりますのでよろしくお祈りします。

以上幹事報告でした。

【奥の細道 芭蕉】(種の浜)

波の間や 小貝にまじる 萩の塵  
小貝を拾おうとしていたら、どこからやってきたのかさざなみの底をほの赤く染めて漂う萩の花びらが小貝にまじって見うけられることだ。  
(出席委員会)



スマイル報告

社会奉仕委員会 鈴木 一朗

今 回

13,000円

累 計

683,000円

次の例会の案内

第1727回 4月6日

結婚・誕生祝

会員卓話:職業紹介 山崎勝己

## 御 礼



住友生命保険相互会社  
越谷支社長 齊藤 敦



越谷東ロータリーの皆様へ

早春の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、小職、東京本社への異動となり越谷東ロータリークラブを脱会させていただくこととなりました。

2年間という短い期間かつコロナ禍の中で、なかなか例会や懇親会等に参加できず、何のお役にも立てませんでした。心暖かく受け入れていただいた皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

今度越谷支社に転任してくる支社長の川本にも、皆様のご許可を得られるならば、入会を推奨いたしましたので、その節はどうぞよろしくご指導していただければと存じます。

最後になりますが、メールでのご挨拶で大変失礼とは存じますが、どうかご容赦くださいませ。

皆様のますますのご健勝と繁栄を祈念申し上げ、最後の挨拶とさせていただきます。本当にお世話になり、ありがとうございました。

## 未来フォーラム

### 温故知新そして未来へ「入りて学び、出でて奉仕せよ」



未来委員会 会田 皓章

このところ、ロータリアンの数が減少傾向にあるのではないのでしょうか、2770地区をみましてもこの10年で約200名減少しているようです。わが第8グループを見ましてもその傾向にあるようです。会員拡大は地区をはじめ各クラブにおいても最重要課題として取り上げられる事項となっています。そこでなぜ減少傾向にあるのか、考える必要があるのではないのでしょうか。「誘われたから入ってみた」とか「付き合いで」と言うこともあるのでしょうか、それだけでは中々長続きはしない。しかし同期はどうあれ人は組織に属するとき「何やら自分にとってそこにいる事が有益であること」をまず考えると思います。自分にとって何が有益になるのか、素晴らしい仲間を得ることももちろんですが、仲間と楽しむだけでは別にロータリークラブでなくてもよいのではないかと思います。ではなぜロータリーなのか、ロータリーとは自分にとって学びの場になる、そしてそれは自らを成長させる有益な場所なのだと思ふき、また広く発信していく必要があるのではないのでしょうか。自分にとって属していて有益な場所であれば会員の減少はないのではないのか。今一度検証の必要があると個人的には思われます。

ロータリークラブは仲間との親交を深めることももちろん重要ですが、学びの場であり自己研鑽の場

であることを再認識すべきなのです。よく言う親睦と奉仕は車の両輪と例えられる所以でもあります。まずは例会に出席をし、気兼ねのない話し合い、笑いのある楽しい雰囲気の中で醸し出された会員同士の親睦エネルギーが自己研鑽と「人の身になって考え、人の役に立つ行い」という奉仕の心を生み出し、高めていくことが出来る。つまり例会の中で親しみ、磨き合い、学び合う中での「利己と利他の調和」Service above self（超我の奉仕）の心を身に付けていく。例会を通じて、親睦を出発点とし、奉仕の心を植え付け、He profits most who service bestの奉仕理念により一人一人が各方面で実践する。ロータリーとは「入りて学び、出でて奉仕せよ」なのではないのでしょうか。

わがクラブはどうでしょうか。創立35年以上を経過しても会員数は大きく減らすことなく、むしろ増加傾向にあるのは素晴らしい事と考えます。そこで本日はわがクラブの5年後あるいは10年後の姿を思い浮かべ「今後ロータリーに期待すること」「東クラブに望むこと」をテーマにグループディスカッションをしていただきたいと思います。グループ分けは、中堅以上のグループと入会5年未満のグループを作り、意見の比較をしてみたいと考えますのでよろしくお願いたします。

## 入会10年以上グループ

### 越谷東ロータリークラブに期待すること

- ① 若い会員を育て活躍できるクラブにすること
- ② 意地悪な先輩がいないクラブの良いところを継続して行くこと
- ③ 出席、例会の在り方を原点に照らし見直して今に活かせるクラブ
- ④ 委員会、ゴルフ、旅行を多く開催し親睦を深められるクラブ
- ⑤ 感謝と恩返しの気持ちを共有できるクラブ
- ⑥ 増強をして活性化できるクラブ



発表者 加藤 盛也